



[対談場所] 喫茶ろくろ。宮崎市花ヶ島町瀬々町 1253-1 Tel.0985-24-0901

Interview



たしろごう 田代剛 さん

MRT宮崎放送唯一の宮崎出身アナウンサー。大の鉄道ファンとして知られ、鉄道がらみの取材はほぼ担当している。プライベートでも、休日は鉄道に乗って旅をする。9月30日の小林駅100周年祭では、MCを務める。鉄ちゃん歴30年



対談

宮崎を代表する「鉄っちゃん」が語る吉都線の魅力

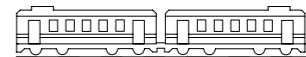
田代剛 × 中原正典

MRT宮崎放送
アナウンサー

喫茶ろくろ店主
宮崎鉄道クラブ「レイルウェイ8レ」メンバー

TALK ABOUT TRAIN

きつとつながる。吉都でつなぐ



吉都線の魅力

Interview



なかほらまさのり 中原正典 さん

宮崎市で喫茶ろくろを経営。店内には、数えきれないほどの鉄道に関するグッズが展示され、鉄道ファンの聖地となっている。鉄道をこよなく愛するサークル「宮崎鉄道クラブ レイルウェイ8レ」のメンバー。鉄ちゃん歴43年

鉄道の魅力を語るにおいて欠かせない鉄道マニア。俗に「鉄っちゃん」と呼ばれる彼らが考える吉都線の魅力、吉都線の楽しみ方とは。宮崎を代表する2人の鉄っちゃんに聴きました。

「二人が鉄道を好きになっ
たきっかけは？」
田代 幼稚園のとき、年に
一度の家族旅行が鉄道によ
る旅でした。そのときの楽
しい思い出や喜びが詰まっ
ていることと、大きな電車
の車体や、知らない多く
の人が行き交うことへの怖
いイメージが強く印象に残
り、あいつまで鉄道にはま
るようになりました。

中原 私が高校1年のとき、
SLブームが始まったころ
で、新聞社のカメラマン
だった叔父に、SLを撮る
人を演じるエキストラとし
て肥薩線に連れて行かれま
した。特に興味はなかった
のに、走ってくるD51を目
の当たりにし、圧倒される
迫力からか、言葉にならな
いくらいの感動を覚え、一
気にのめりこみました。そ
れ以降、学校へ行く鞆には
常にカメラを忍ばせ、SL
を撮ったものです。

田代 鉄道の魅力やおもしろさ
とは
田代 鉄道は適度にゆっく
りした時間の中で、隣り合
います。目的地に着くまで
も旅なんです。

田代 鉄道のおもしろさは、
見る角度や切り口でたくさ
んあると思います。乗って
も、撮っても、体験しても。
――吉都線の楽しみ方とは
―― 吉都線はやはり、車
窓から見る霧島です。晴れ
てる日はラッキーで、雨の
日は残念。おみくじを引く
感覚です。そして、ずっと
角度を変えながら霧島を楽
しめます。都城から行くと、
吉松でスイッチバックがあ
るので、帰りは霧島を別の
目線で見られる。そういう
ところでは唯一の路線だと
思います。

田代 私は鉄道で感じる文
化が好きです。駅を中心と
したまちや、人の温もりが
感じられるローカル線は特
に。吉都線にはそういった
ものが残っていると思いま
す。また、霧島の懐に入り
込む感覚とスケールの大き
さを感じます。

中原 山々に囲まれるから、
カルデラに入った感じがし
ますよね。

田代 二人が鉄道を好きになっ
たきっかけは？
田代 幼稚園のとき、年に
一度の家族旅行が鉄道によ
る旅でした。そのときの楽
しい思い出や喜びが詰まっ
ていることと、大きな電車
の車体や、知らない多く
の人が行き交うことへの怖
いイメージが強く印象に残
り、あいつまで鉄道にはま
るようになりました。

中原 私が高校1年のとき、
SLブームが始まったころ
で、新聞社のカメラマン
だった叔父に、SLを撮る
人を演じるエキストラとし
て肥薩線に連れて行かれま
した。特に興味はなかった
のに、走ってくるD51を目
の当たりにし、圧倒される
迫力からか、言葉にならな
いくらいの感動を覚え、一
気にのめりこみました。そ
れ以降、学校へ行く鞆には
常にカメラを忍ばせ、SL
を撮ったものです。

田代 鉄道の魅力やおもしろさ
とは
田代 鉄道は適度にゆっく
りした時間の中で、隣り合
います。目的地に着くまで
も旅なんです。

田代 鉄道のおもしろさは、
見る角度や切り口でたくさ
んあると思います。乗って
も、撮っても、体験しても。
――吉都線の楽しみ方とは
―― 吉都線はやはり、車
窓から見る霧島です。晴れ
てる日はラッキーで、雨の
日は残念。おみくじを引く
感覚です。そして、ずっと
角度を変えながら霧島を楽
しめます。都城から行くと、
吉松でスイッチバックがあ
るので、帰りは霧島を別の
目線で見られる。そういう
ところでは唯一の路線だと
思います。

田代 私は鉄道で感じる文
化が好きです。駅を中心と
したまちや、人の温もりが
感じられるローカル線は特
に。吉都線にはそういった
ものが残っていると思いま
す。また、霧島の懐に入り
込む感覚とスケールの大き
さを感じます。

中原 山々に囲まれるから、
カルデラに入った感じがし
ますよね。

田代 100周年はすごい
ことだと思います。その歴
史を大切にしながらも、一
過性のイベントにせず、魅
力あるまちづくりにつなげ
てほしいです。100年あ
れば、多くの人の出会いが
あったことでしょう。だか
らこそ、これからも続いて
ほしいと思いますね。

田代 吉都線はこれからの
季節が楽しみです。実りの
秋を迎え、風景が黄金色に
なっていくと思います。ワクワク
しますね。

中原 写真を撮るときも、
同じです。列車が来るまで、
その場所ならではの景色を
見られます。

――小林駅開業・吉都線開通
100周年に寄せて――
中原 この100周年とい
う節目での一時的なイベン
トではなく、末永く乗ろう
と盛り上げてほしいです。
特別な列車を走らせると
か、多くの人が乗ろうと思
う仕掛けもおもしろいで
すね。吉都線沿線の自治体
の人たちが協力すれば、でき
ると思います。

田代 100周年はすごい
ことだと思います。その歴
史を大切にしながらも、一
過性のイベントにせず、魅
力あるまちづくりにつなげ
てほしいです。100年あ
れば、多くの人の出会いが
あったことでしょう。だか
らこそ、これからも続いて
ほしいと思いますね。